

緊迫する 世界



川上高司

表に任命したことに表れている。

11月の中間選挙で絶対
に負けられないドナルド
・トランプ米大統領は、
北朝鮮とイランの核問題
を得票に結びつけようと
躍起である。

トランプ米大統領は、
安全保障問題担当」と旧
知の仲である、ブライア
ン・フック政策企画局長
を「イラン担当特別代

表に任命したことに表
れている。
フック氏は、国務省内
に新設されたイランに対
する核政策や経済制裁を
担当する専門チーム「イ
ラン・アクション・グル
ープ（IRAN Action Group）」
で指揮を執る。

だが、北朝鮮とイラン
とはまったく事情が異
なる。
北朝鮮は核保有を放棄
していないが、イランは
核開発を大幅に制限する
「イラン核合意」（2015年、米国と英国、
フランス、ドイツ、中国、
ロシアとイランが合意）

に応じたのである。その
合意を、米国が一方的に
破棄したわけだから、正
当性はイランにある。
イランは早速、トラン
プ政権がイラン核合意離
脱後に制裁を発動したの
は条約違反であるとし
て、国際司法裁判所（ICJ）へ提訴した。

特に、選挙直前の11月
4日に、イラン産原油の
取引禁止や、金融取引停
止へと制裁を本格化させ
る。トランプ氏は、イラ
ンへの圧力を強め、「制
裁に例外規定はない」と
米企業だけでなく国際社
会にも迫っている。

その本気度は、対イラ
ン強硬派のジョン・ボル
インド、欧州連合（E

U）の協力が必要だ。
しかし、インド以外
は、いずれとも米国と貿
易戦争の最中にあり、
「イランに加担する」と
宣言している。しかも、
EU諸国は核合意後、す
でにイランとのビジネス
に乗り出し、イランへ2
000億ドル（約22兆24
00億円）の支援を決
め、今さら中止はできな
い。ロシアもイラン支援
を崩さない。

ハメネイ師は「ハサン
・ロウハニ政権の政策運
営が大きく誤っている」
と、ロウハニ大統領を非
難している。懸念される
のは、イラン核合意を推
進した穏健派のロウハニ
氏が国内で失速した場
合、強硬派が台頭するこ
とにある。

イランに再び強硬派が
台頭し、米国やイスラエ
ルと軍事的に対峙（たい
じ）することになれば、
ボルトン氏をはじめとす
るイスラエルの意向を強
く反映しているネオコン
の思いつきである。
イラン問題は複雑怪奇
であり、慎重な対応が必
要とされる
（拓殖大学海外事情研
究所所長）

米のイラン核合意離脱 懸念される重大事態

トランプ氏の強硬姿勢
に対し、イラン核合意へ
の参加国の結束はなかな
か崩れない。米国のイラ
ンへの石油制裁が効力を
及ぼすためには、大口顧
客である中国やトルコ、

だが、ボルトン氏は、
対イラン制裁は同国の経

最近では食品価格が高騰
し、失業や汚職に抗議す
るデモがイランで発生し
ている。

イランに再び強硬派が
台頭し、米国やイスラエ
ルと軍事的に対峙（たい
じ）することになれば、
ボルトン氏をはじめとす
るイスラエルの意向を強
く反映しているネオコン
の思いつきである。
イラン問題は複雑怪奇
であり、慎重な対応が必
要とされる
（拓殖大学海外事情研
究所所長）



トランプ米大統領（左）と、イランのロウハニ大統領は一步も引かない構えだ（AP）

トランプ氏は「核を放
棄するなら、話し合いに
応じてよい」と、「北
朝鮮方式」をチラつかせ
るが、イランの最高指導
者、アリー・ハメネイ師
は「現米政権と話し合
う気はない」と一蹴し
た。

イランに再び強硬派が
台頭し、米国やイスラエ
ルと軍事的に対峙（たい
じ）することになれば、
ボルトン氏をはじめとす
るイスラエルの意向を強
く反映しているネオコン
の思いつきである。
イラン問題は複雑怪奇
であり、慎重な対応が必
要とされる
（拓殖大学海外事情研
究所所長）

イランに再び強硬派が
台頭し、米国やイスラエ
ルと軍事的に対峙（たい
じ）することになれば、
ボルトン氏をはじめとす
るイスラエルの意向を強
く反映しているネオコン
の思いつきである。
イラン問題は複雑怪奇
であり、慎重な対応が必
要とされる
（拓殖大学海外事情研
究所所長）